



「 陽の鳥 」 (縦 300 cm×横 300 cm)

作者 野呂 有里

*設置場所 福祉の家

*経歴

1977 生まれ
2000 愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻卒業
2002 愛知県立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了
現在 コンフォートクック株式会社勤務
愛知県立芸術大学デザイン専攻非常勤講師

*コメント

生命に流れる無数の線はすべて輝いています。ひとつの命をつなげるために、新しい枝をのぼし新しい可能性を探りながら創られる生という世界。生命は宇宙。生という宇宙にめぐりあった時、人は自身にも流れる無数の線や音や動きについて思う。そして、それ自体が輝いていることに気付く。物事が多様化する中で、生きるということとは何かを見失うことも少なくありません。私は生きているという事それ自体が尊くすばらしく輝いているのだということをもう一度、作品を通しみつめてみたいと思いました。この作品“陽の鳥”(ヒノトリ)は、太陽の光りをいっぱいに浴びて大空を飛ぶ鳥を表現しています。太陽が放つ光は、命の光。そんな光りを浴びて大空を飛ぶ鳥を生命の希望の象徴として“福祉の家”を訪れる多くの方々に、生きているということの素晴らしさについて、そして、自信の中に宿る輝ける生について感じていただければ幸いです。